

第17回全国大学生環境活動コンテストが開催されました（開催報告）

- 主催：**全国大学生環境活動コンテスト実行委員会
共催：独立行政法人環境再生保全機構
 特定非営利活動法人エコ・リーグ
協賛：公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団
 J-POWER 電源開発株式会社
物品協賛：協栄産業株式会社／株式会社クボタ
 株式会社大王製作所／株式会社山櫻
後援：環境省／読売新聞社／全国大学生生活協同組合連合会
協力：株式会社ダイナックス都市環境研究所



2019開催概要

「全国大学生環境活動コンテスト（ecocon）」は、環境に関心のある全国の大学生が1年に1度集まり発表・交流・学習を行うイベントで、企業、行政、学識経験者、環境団体などの社会人の選考委員を交え、1年間実施した活動の振り返り、評価を行うコンテストです。令和元年12月28日に、第17回全国大学生環境活動コンテスト（ecocon2019）が開催され、全国各地から15の学生環境団体が参加し、130名が参加しました。

持続可能な社会に向けて社会や学生環境活動が大きく変化していく中で、ecoconも大きく変わる必要があると考えました結果、従来のコンテスト形式ではなく、ワークショップをメインとしたイベントを開催しました。「次の一歩をみんなで考える」をテーマに、全国の学生環境団体や社会人選考委員、一般参加者など多くの方々を交え、持続可能性について議論しました。

プログラム紹介

開会式

今年度のecocon学生代表からの挨拶と、社会人アドバイザー16名の紹介を行いました。

活動紹介

今回ecoconに参加した15団体の活動紹介を行いました。活動紹介には今年度実施した特徴的な環境活動や次年度に向けた展望などを含めて紹介していただきました。

活動発表後には質疑応答を設け、他の学生や社会人などを含め、お互いの活動をより深く学ぶ機会となりました。

ワークショップ

今回のecoconのメインコンテンツであるワークショップを、「次の一歩を考える」をテーマに実施しました。

開始時は団体の垣根を超え、全参加者を混ぜた状態でワークショップを実施し、参加者一人として自身の団体の魅力ややりがいなどの自己分析を行いました。他の参加者との意見交換を実施後、再び団体同士で集まり、他の団体との意見交換から見出した自団体の長所や課題などについて内部で議論し、その内容について各団体でとりまとめたものの発表を行いました。

閉会式・交流会

閉会式を行ったあと、有志の参加者を含めた交流会を実施しました。

交流会は55名程度の参加となり、日頃の活動の内容など、活動紹介やワークショップで話せなかった様々な話で盛んな交流が行われました。



開会式



ワークショップ



発表風景



交流会